

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	エール		
○保護者評価実施期間	2025年2月15日		～ 2025年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年2月15日		～ 2025年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないようにしている。長期休暇中に社会経験が出来るプログラムを組み、様々な体験を提供できるようにしている。児童が自己選択できるように活動を組んでいる。	事業所が提案するプログラムを組むだけでなく、個々の意見や要望を聞き自己選択出来る環境を作っている。	
2	毎日プログラムに個別療育と集団療育を組み込んでいる。	日々の活動で気になった点や気づいて欲しい点などを次の利用日には振り返り習得できるように繰り返し行っている。	
3	経験豊富な保育士、教諭などの有資格者がいるため、それぞれの年齢や行動に合わせた支援が出来る。	それぞれの資格や経験を活かした支援を職員全体で共有する。	ミーティングや会議などで意見交換を行い、支援の充実についての意識づけを行う。職員のスキルアップをめざし、研修受講の機会を設ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や保護者会との開催により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされている。	保護者同士の交流をする機会が少ない。きょうだい向けのイベントを開催していない。	希望がある保護者様同士の交流になっていたため、ホームページなどで保護者会の日をお伝えする。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもも活動する機会がありますか。	児童館は長期休暇の時などに利用している。また地域の子もたちと公園などで関わる機会を設けている。交流の様子はブログにのせている。	ホームページに掲載していることを周知してもらえるように努める。
3	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	希望された保護者の方には行っていたが、周知されていなかった。	ホームページや連絡帳に記載し周知徹底し、機会を設ける。